

AIを活用した学術情報検索ツールの提案

～ダメダメAさんが自立するまで～

平成28年度 大学図書館職員短期研修

京都会場 3班

トピック

- 課題：ダメダメAさんの現状、図書館の現状
- 解決案『図書館AIのアキちゃん』
- 図書館AIのアキちゃんとは？
- 図書館AIのアキちゃんと出会った結果、Aさんは・・・
- 図書館AIのアキちゃんと図書館員の協働

課題：ダメダメAさんの現状

- Google先生が1ページで全て教えてくれる
- Wikipedia先輩がいつも助けてくれる
- 何が必要かわからない
- データベースって何？何があるの？
- 図書館てどこ？何ができるの？



検索レベル（習熟度）が初年次レベルの学生



課題：図書館の現状

- データベースがありすぎる
- ディスカバリーサービスを使うにはスキルが必要
- 検索方法がキーワード検索に偏っている（内容検索ができない）



利用者と図書館どちらにも問題がある



図書館AIのアキちゃんが解決します！

*アキちゃんとはアキネイターのように利用者を誘導するシステムです。

図書館AIのアキちゃんとは？（１） とっても物知り！

アキちゃんはウェブベース＋スマホアプリ

検索対象は、

図書館所蔵資料＋図書館で契約している資料
＋アクセスフリーの資料
＝とっても物知り！



図書館AIのアキちゃんとは？（２）

コミュニケーション能力が高い！

検索は簡単！

欲しい資料をイメージしてアキちゃんの質問に答えるだけ！

質問例）Q1目的は何ですか？

- A レポート作成 B 卒業論文 C 就職活動
D 資格試験 E その他

Q2分野は何ですか？

- A 文系 B 理系 C その他

図書館AIのアキちゃんとは？（２）

コミュニケーション能力が高い！

アキちゃんの質問に答えた結果

- ・ 最適な資料を提示してくれる
- ・ 最適なツールを教えてくれる
- ・ おススメキーワードも教えてくれる
- ・ 適切な窓口を教えてくれる

図書館AIのアキちゃんとは？（３）

どうやって出会うの？

アキちゃんには友達が多い！

- ・ シラバス→シラバスの科目から
- ・ 教務情報システム→履修科目から
- ・ 図書館WEBサイト→もちろん図書館からも

アキちゃんと出会った結果

検索の経験を積み、検索のコツを覚えて自立し、
データベースの有効性を知る
図書館員に聞くことを知る

→検索と情報リテラシー教育の両立

たくさん友達ができました！

アキちゃんと出会うことで、検索のコツを覚え、CiNiiさん、Web of Scienceくん、PubMedちゃん、SciFinder先輩、図書館員さん
いろんな友達ができました。

検索の流れが身につく！
もう一人じゃないよ！



ちなみに、、、

アキちゃんだって間違えることがあります。
指摘してもらえればAIのアキちゃんは成長しますよ！

検索結果の評価→検索結果の改善・向上



図書館AIのアキちゃん和図書館員の協働

- アキちゃんが得意なこと
簡単な質問や誘導
- 図書館員がサポートできること
個人のニーズに臨機応変な対応が可能
(Aさんが成長することにより踏み込んだ質問が図書館にくる)
- アキちゃんと図書館員が協働することで、業務の効率化、サービスの質を向上させられる

図書館AIのアキちゃん和図書館員の協働

アキちゃんが成長することによって図書館員に求められるスキル

- ・ 図書館員の専門性
- ・ アキちゃんをメンテナンスするための知識
(適切に利用者を誘導しているか、アキちゃんのナビゲート履歴を確認する必要があるため)

お　わ　り

ご静聴ありがとうございました

